

被災地へつながる支援の輪

岩手県陸前高田市へ出発する救援物資輸送隊（3月25日）



▲厚木基地に救援物資を搬送（3月23日）

▼一般の方からの救援物資の提供（4月2日・3日）



町消防団 鍵和田団長が被災地の現状を語る

このたびの大震災によって尊い命を亡くされた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の方々に心からお悔やみ申し上げ、また、被災された方々にお見舞いを申し上げます。町から消防団に配備されている情報伝達用オフロードバイク2台を、町職員2名とともに岩手県陸前高田市に届けてきました。このバイクは、中越地震の際、ボランティアによるバイク隊の活躍が注目され、山間地に集落を抱える松田町にもバイクは情報の収集・伝達に有効に活用できると、その後すぐに配備された5台の内の2台です。そのほか野菜約1トンとノートパソコンほか文房具を載せて行きました。

市の防災対策本部が置かれている給食センターに着いたのは朝7時前。すぐに若い男性5～6人が、トラックからの荷降ろしを手伝ってくれました。「野菜だ！」という、まさに待ち望んでいたことを感じさせる声でした。最後にバイクを降ろし、町職員により始動を確認した後、引き渡しました。町職員が防災対策本部長に、松田町への被災者の受入計画を説明し、引き上げようとしたところで戸羽太市長がお見えになり、謝辞をいただきました。

その後、被災状況を視察しました。テレビ等で見てはいましたが、やはり現場で惨状を目の当たりにすると、どうしようもない絶望感に襲われました。何から、どこから手を着けたらいいのか。町へ戻ってまずできることとして、新松田駅前街頭募金活動をさせていただきました。

今回は住民の生命を守るため、同市では多くの消防団員も殉職しました。有事の際、私たち消防団員はどのような行動をとるべきか、また何ができるのか。今後の課題を与えられたような気がします。



▲義援金の寄付を呼びかける消防団

▶被災地 陸前高田市の倒壊した家屋（3月26日）



の判断で被災地の避難場所に届けられました。

町が県を通して支援する救援物資については、3月23日にアメリカ海軍厚木航空施設に搬入し、そこから山形空港まで空輸され、現地の自衛隊の判断で被災地の避難場所に届けられました。

3月25日、町では東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市に向けて救援物資を載せた輸送隊が出発しました。陸前高田市長、戸羽太さんの母上は、松田町出身で縁がある事もあり、町消防団鍵和田儀一団長と町職員2名の輸送隊は、情報収集用バイクや野菜などの救援物資を同市へ輸送しました。

被災した方の受け入れを決定

東日本大震災の被災者に対する支援策として、民間賃貸住宅を借り上げ、半年間、無償で提供するとともに、災害支援金を支給するために、3月31日に臨時議会を開き「東北地方太平洋沖地震による被害者等に対する支援に関する条例」を可決しました。すでに被災地から避難されてきた数世帯の方の入居も決まり、順次受入をしています。

被災地へ救援物資を輸送

東日本大震災が発生し、各市町村では被災地を支援しようとする活動を始めています。松田町でも各支援活動を実施しています。皆さんにも多大なるご協力をいただきありがとうございます。